

日本認知言語学会第18回全国大会プログラム 【1日目】

9月16日（土）受付9時30分（場所：全学教育講義B棟1階入口内）

		第1室 共B218	第2室 共B208	第3室 共B207	第4室 共A214
ワークショップ	10:00 12:20	<p><テーマ> 日本語における「主体化」論 理の諸問題</p>	<p><テーマ> 身体・環境・インタラクシ ョンからみる言語の獲得と発達</p>	<p><テーマ> 用法基盤モデルの観点から言 語知識について考える</p>	<p><テーマ> 「ナル表現」をめぐる通言語 学的研究—日本とユーラシア の「ナル表現」—</p>
		<p>○中野研一郎（関西外国語大 学短期大学部）・熊倉千之 （フリー／元金城学院大学）・ 鈴木常元（駒澤大学）</p>	<p>○谷ロー美（京都大学）・深 田智（京都工芸繊維大学）・ 岡夏樹（京都工芸繊維大 学）・萩原広道（京都大学 [院]）</p>	<p>○大谷直輝（東京外国語大 学）・中山俊秀（東京外国語 大学）・佐治伸郎（鎌倉女子 大学）・吉川正人（慶應義塾 大学[非常勤]）</p>	<p>○[司会] 守屋三千代（創価 大学）・角道正佳（大阪大学 名誉教授）・栗林裕（岡山大 学）・岡智之（東京学芸大 学）・宮岸哲也（安田女子大 学）・南謙吾（創価大学 [院]） ディスカッサント：池上嘉彦 （東京大学名誉教授）</p>

昼食休憩（12:20～13:20）

開会挨拶（13:20～13:30）会場：大講義室

<p>特別講演 13:30～15:30 会場：大講義室</p>	<p>講師：Mark Johnson (University of Oregon) 司会：鍋島弘治朗（関西大学）</p>
	<p>演題：Embodied Mind and Meaning</p>

		第1室 共B218	第2室 共B208	第3室 共B207	第4室 共A214	第5室 共A201
		大橋浩（九州大学）	松本曜（神戸大学）	井上逸兵（慶應義塾大学）	山口治彦（神戸市外国語大学）	堀田優子（金沢大学）
第1発表	15:50 16:25	<p>“Reading in absolute and relative contexts for adjectival meaning: A comparison of Japanese and English speakers” 菅谷友亮（京都大学[院]）</p>	<p>「移動事象における非対称性 と粒度」 神野智久（日本経済大学／育 秀国際語学院[非常勤]）</p>	<p>「オクシモロンの創発・受容 における認知モード」 向井理恵（高岡法科大学）</p>	<p>「日本語オノマトへの意味と 動詞化の相関関係—反復形を もとに—」 菅原崇（岐阜工業高等専門学 校）</p>	<p>「Virtual Eventから捉えた to不定詞の認知メカニズム」 佐々木昌太郎（高知工業高等 専門学校／熊本県立大学 [院]）</p>
	16:30 17:05	<p>「評価形容詞の意味分類— 「いい」を事例に—」 西内沙恵（国立国語研究所）</p>	<p>“Different types of causality and clause linkage in English, Japanese, Sidaama, and Yucatec Maya” Kazuhiro Kawachi（防衛大学 校）・Erika Bellingham （University at Buffalo, the State University of New York[院]）・Jürgen Bohnenmeyer（University at Buffalo, the State University of New York） [招聘]</p>	<p>「構文文法理論における「文 体」分析の方法—「文体バロ ディ」中にみられる響鳴を例 に—」 西村綾夏（京都大学[院]）</p>	<p>「目的/因果」表現におけ る「視線」と「着点/起点」 の反転現象—「ために」の考 察を中心に—」 宗田安巳（京都大学[院]）</p>	<p>「可能を表す二重目的語構文 の意味とその経験的基盤」 植田正暢（北九州市立大学／ 西南学院大学[院]）</p>
	17:10 17:45	<p>「形容詞「高い」の意味拡張 の動機づけ—フレームの観点 から—」 栗木久美（名古屋大学[院]）</p>	<p>「意味の出現—知識と指示対 象との動的平衡—」 寺西隆弘（同志社大学）</p>	<p>「アメリカ大統領の就任演 説（1960年～2017年）におけ るメタファー分析」 友繁有輝（大阪大学[院]）</p>	<p>“Adding Insult to Spilled Coke: A Corpus-Based Study of Idiomatic Creativity” Youngmin Oh（関西大学 [院]）</p>	<p>「対象指示の2つの機能—指 向と描写—」 古賀恵介（福岡大学）[招聘]</p>

懇親会（18:20～20:20）会場：豊中福利会館4F食堂

※1日目・2日目ともに、共A203及び共B206にて書籍展示を行います。

日本認知言語学会第18回全国大会プログラム 【2日目】

9月17日(日) 受付9時10分(1日目に受付をされていない方のみ)

		第1室 共B218	第2室 共B208	第3室 共B207	第4室 共A214	第5室 共A201
司会		王安(岡山大学)	森雄一(成蹊大学)	高橋清子(神戸外国語大学)	米田信子(大阪大学)	野田大志(愛知学院大学)
第1発表	9:30 10:05	「台湾華語発話動詞の「応答的間主観化用法」への機能拡張—日本語の引用形式との対比を通じて—」 ○江俊賢(名古屋大学[院])・堀江薫(名古屋大学大学院)	「構文の選択制限についての新提案—プロファイルに注目し—」 葉秉杰(国立政治大学(台湾))	「タイ語の授与動詞hayの意味拡張に関する一考察—コーパス分析に基づく構文的アプローチ—」 ○カウイーチャールモンコン・サリンラット(東北大学[院])・上原聡(東北大学大学院)	“Investigation of Moving-Ego Metaphors in Japanese” 大神雄一郎(摂南大学ノ大阪薬科大学[非常勤])	「「まるで」と「もはや」に見られる話者の再カテゴリー化の様相」 関ソラ(名古屋大学[院])
	10:10 10:45	「「言うべきことは私が思うこと—中国語の談話標識“应该说”の構文化と多機能性—」 朱冰(名古屋大学[院])	「認知言語学的観点から作成された多義語学習辞典分析」 森山新(お茶の水女子大学)	「日タイ語の親族名称の用法に関する認知言語学的一考察—親族名称系自称詞に注目したケーススタディー—」 ○ロイケオ・スィリアチャー(東北大学[院])・上原聡(東北大学大学院)	「可能表現にみるモダリティとヴォイスの相互関係—対訳データに基づく意味地図の可能性—」 今泉智子(北海道大学[院])	「例示の機能をもつ助詞ナンの意味分析—カテゴリーの観点から—」 滝理江(名古屋大学[院])

10分休憩

司会		菅井三実(兵庫教育大学)	和田尚明(筑波大学)	野村益寛(北海道大学)	宮浦国江(北陸学院大学)	小野寺典子(青山学院大学)
第3発表	10:55 11:30	「「腐る」と「腐敗する」の意味分析—百科事典的意味観に基づく日韓対照研究—」 李澤熊(名古屋大学大学院)	“The semantics of <i>naru</i> , a Japanese intransitive verb, and its English equivalents” 藤田修二(大阪府立大学[院])	「M・トマセロの言語習得理論の可能性—行動分析学及びACTIに寄与する用法基盤モデルの考察—」 玉井高明(フリー)	「「ハ/ガ」の使い分けと日本語の機能分類—人称・前提の在り方から—」 島映子(フリー)	「文末表現「~ものか」の意味の分析」 山田裕子(名古屋大学[院])
	11:35 12:10	「「つかる」と「ひたる」の意味拡張からみえること—メトニミーとフレームの観点から—」 小川朱美(名古屋大学[院])	「病理・生理現象を表す他動詞文の表現について」 李静(九州大学[院])	「書記体系と文法化」 黒田一平(京都ノートルダム女子大学ノ龍谷大学[非常勤])	“The Ongoing Development of the Copulative Perception Verb Construction in Present-day Spoken American English” 中村文紀(北里大学)	「話し言葉の文末における「が」「けど」の談話機能—認知・機能的観点から—」 ○胡蘇紅(名古屋大学[院])・堀江薫(名古屋大学大学院)

昼食休憩(12:10~14:00 ポスターセッションを含む)

ポスターセッション すべて 全学教育 講義B棟2階 オープンスペース にて	12:30 13:30 14件 同時進行	「「~ないとは思わない」に訳せないI don't think (that) / believe (that) / know that」→p —(英語における)NEG-Raising現象の解明を目指して—」 森貞(福井工業高等専門学校)	「味を表す表現における動機づけに関する一考察—生理的動機づけ、認知的動機づけ、および環境的動機づけ」 武藤彩加(広島市立大学)	「意味分野の結合類型を用いてコーパスから隠喩用例収集を試みる」 ○加藤祥(国立国語研究所)・浅原正幸(国立国語研究所)	「D. H. ローレンスの詩における認知詩学的考察—Ballad of Another Opheliaの分析から—」 石田崇(筑波大学[院])	「英語関係節の概念構造分析」 山本幸一(名古屋大学[非常勤])
	すべて 全学教育 講義B棟2階 オープンスペース にて	「英語の動詞teachについての一考察」 酒井啓史(京都大学[院])	「日本語における焦点構造と項の省略可能性」 ○井上優大(京都大学[院])・佐藤雅也(京都大学[院])	「中国語における“-起来”を用いた「中間構文」再考—属性の分類、「影響性」、 「認知モード」の観点から—」 劉洋(神戸市外国語大学[院])	「スキーマからみるasの意味論—接続詞asを中心に—」 佐藤嘉晃(京都大学[院])	「イ形容詞・ナ形容詞・ダ叙述の認知構造—「XはYだ」を手がかりに—」 平岩加寿子(大阪学院大学[院])
	すべて 全学教育 講義B棟2階 オープンスペース にて	「ロシア語の事態把握にみられる主観性の度合い—英語絵本オリジナル版とロシア語翻訳版の比較—」 ○都築雅子(中京大学)・ペトリシェヴァ・ニーナ(中京大学)	「形容詞連用修飾関係の構文ネットワーク分析」 井本亮(福島大学)	「修飾の精緻化と拡張—英語軽動詞構文に共起する形容詞の事例を中心に—」 井口智彰(大島商船高等専門学校)	「英語母語話者の過去形と現在完了形の使用における事態把握に関する実験—即興劇と事後インタビューを通して—」 石井達也(広島大学[院])	

総会(14:00~14:20)会場:大講義室

シンポジウム 14:20 17:00 会場:大講義室	テーマ:「多義をどう捉えるか—言語教育と理論の視点から—」 司会・講師: 鷺見幸美(名古屋大学) 「日本語多義語の分析と日本語教育への応用」 講師: 三宅登之(東京外国語大学) 「中国語多義語の分析と中国語教育への応用」 講師: 宮畑一範(大阪府立大学)・辻本智子(大阪工業大学) 「英語多義語の分析と英語教育への応用」 「多義記述の問題点とその解法」 総括: 瀬戸賢一(佛光大学)
--	--

閉会挨拶(17:00~17:05)会場:大講義室